



自衛隊栃木地方協力本部

第12音楽隊が塩谷町で約10年ぶりに演奏



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は10月22日、栃木県の塩谷町中学校屋内運動場アリーナにおいて開催された第12音楽隊によるコンサートを支援した。

このコンサートは塩谷町教育委員会からの依頼で実施したものである。観客席を1席空けの配置にするなど、新型コロナウイルス感染対策を講じての開催となった。

当日は約10年ぶりの自衛隊音楽隊コンサートに、約300名が聴き入

った。スポーツの秋を想わせる楽曲やジャズのメドレー、サクソフォンのソロなどの演奏に、手拍子で合わせたり、体でリズムを刻む人の姿が見られた。また、この10月に第12音楽隊に配属されたばかりで、当コンサートが初舞台となる4名の新隊員を紹介した場面では、観客から大きな拍手が送られた。

演奏会が終わり隊員が舞台を去る場面では、拍手が鳴り止まず、隊員と観客が手を振り合う光景も見られた。多くの方から「とても感動した」との声が聞かれた。

栃木地本は「今後も自衛隊音楽隊の演奏などを通じ、地域の皆様に自衛隊の魅力を感じていただけるよう活動していく」としている。



SUPER GTで自衛隊をPR

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は11月6日、栃木県のモビリティリゾートもてぎ（旧ツインリンクもてぎ）で開催された「2022 AUTOBACS SUPER GT Round 8 MOTEGI GT 300km」において、自衛隊広報ブースを出展した。また、主催者から戦闘機展示飛行の依頼があったため、数か月前よりその調整にあたった。

当日はレース前から多くの来場者が訪れ、広報ブース前にも長い列ができた。ブース内のF-2戦闘機のタペストリーを背景に記念撮影をしたり、防衛記念章や航空自衛隊の階級章などの展示物をスマホで接写する人の姿が見られた。「防大を目指しています」と、広報官に話しかける中学生もいた。

開会式において松島基地所属のF-2B戦闘機2機が会場上空を飛行した場面では、来場者が空を見上げて撮影したり、戦闘機に手を振る光景が見られた。「すごくカッコ良かった」「開会式が盛り上がった」等の声が聞かれ、「どうやったらパイロットになれるんですか」と隊員に質問する小学生の姿もあった。

